

RYOBI

自動カンナ

A P - 10

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6982254



●ご使用に当たりましての注意事項

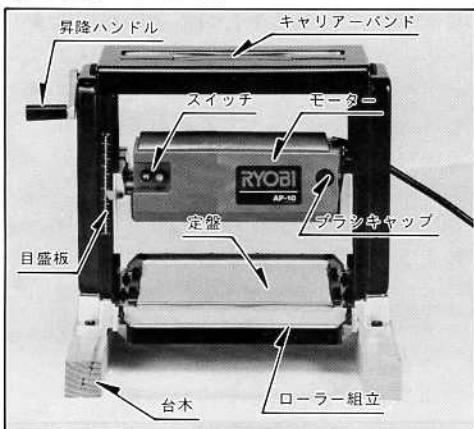
本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途には、お使いにならないで下さい。

- 被削材に釘などの異物がないことを確認して下さい。異物があればカンナ刃を破損し、仕上面は、きたなくなります。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にカンナ刃は使用説明に従い、正しく取付けられ、締付ボルトはしっかりと締付けられているか確認して下さい。
- カンナ刃の取付け取外しなどカンナ刃の取扱い時には手を切る恐れがありますので刃先に十分注意して下さい。
- 切屑排出口には絶対指などを入れないよう注意して下さい。カンナ刃が高速回転していますので危険です。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶつけたりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 運転中はカンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。カンナ刃は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特に子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は、使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用後、及び停電の際には、さし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売窓口営業所にお問い合わせ下さい。

●用 途

木材の平削り。

●各部の名称

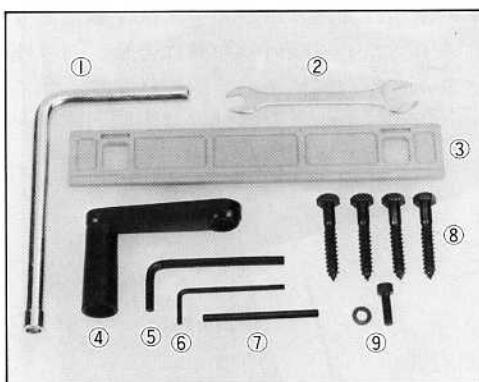


●仕様

モ デ ル	AP-10	最 大 切 削 巾	254mm
電 源 電 圧	単相 100V	切 削 厚 さ	5~127mm
電 流	14A	切 込 深 さ	0~2.5mm
消 費 電 力	1,350W	機 体 尺 法 (高さ) (巾) (奥行) 412 × 490 × 470mm	
回 転 数	8,000R.P.M.		
送 材 速 度	8 m/分	重 量	26kg
キャブタイヤコード	5 m	□二重絶縁	

●通常附属品

- ①ボックススパナ(9mm).....1
- ②両口スパナ(10×13mm).....1
- ③刃先セッティングゲージ.....1
- ④昇降ハンドル.....1
- ⑤六角レンチ(5mm).....1
- ⑥六角レンチ(3mm).....1
- ⑦ロックピン.....1
- ⑧六角木ネジ(8×50mm)(台木取付用)…4
- ⑨六角穴付ボルト(M6×20mm)1
(スプリングワッシャー付)

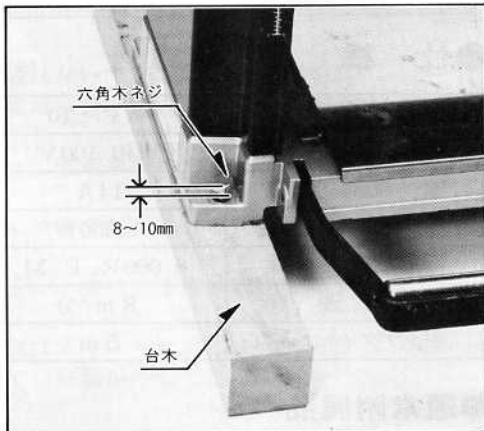


●特長

- 小型・軽量でしかも運搬に便利なキャリアーバンド付ですから手軽に移動できます。
- コンパクトなボディーに最大切削巾 254mm とワイドな切削能力を備えています。
- 二重絶縁構造で安全作業ができます。
- 定盤固定・カンナ刃昇降式ですから、補助ローラーの高さは一定で作業ができます。

●台木の取付け

- 台木の上に本体を乗せ、本体のベース穴と台木の下穴をあわせます。
- 附属品の六角木ネジ(8×60) 4 本を締代 8~10mm 残して取付け穴に打ち込みます。
- スパナで六角木ネジを締付ければ、台木の取付けは完了です。



●昇降ハンドルの取付け

- 附属品の昇降ハンドルを本体左側にありますハンドル取付軸の溝に合せ、バネ座金、六角穴付ボルトで取付けます。六角穴付ボルトの締付けは附属の六角レンチ(5 mm)を使用して下さい。

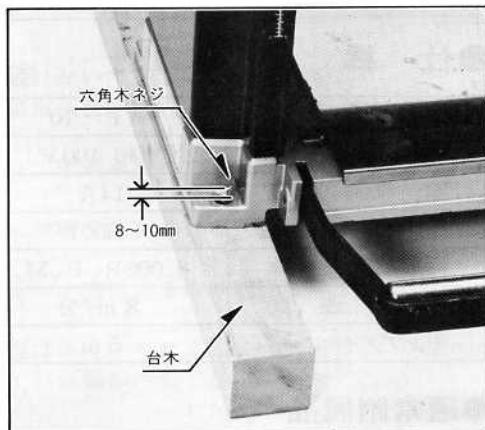


●特長

- 小型・軽量でしかも運搬に便利なキャリーアーバンド付ですから手軽に移動できます。
- コンパクトなボディーに最大切削巾 254mm とワイドな切削能力を備えています。
- 二重絶縁構造で安全作業ができます。
- 定盤固定・カンナ刃昇降式ですから、補助ローラーの高さは一定で作業ができます。

●台木の取付け

- 台木の上に本体を乗せ、本体のベース穴と台木の下穴をあわせます。
- 附属品の六角木ネジ(8×60) 4 本を締代 8~10mm 残して取付け穴に打ち込みます。
- スパナで六角木ネジを締付ければ、台木の取付けは完了です。



●昇降ハンドルの取付け

- 附属品の昇降ハンドルを本体左側にありますハンドル取付軸の溝に合せ、バネ座金、六角穴付ボルトで取付けます。六角穴付ボルトの締付けは附属の六角レンチ(5 mm)を使用して下さい。



●材料の切削

●切削材の厚さに合せ昇降ハンドルを回して刀物部を下げる。

●スイッチをONにし、切削材をローラー部より送り込みます。

(注意)長尺材の切削では、切削材の前又は後をささえて、切削材の重量バランスを取って下さい。

●必要な材料厚になるまで切削をくり返します。

(注意)薄板加工時には、ローラーケース下部の切屑を排除して下さい。切屑がローラーケース下部にありますと、屑を挟んでローラーケースは十分に下りません。

(注意)左右カバーのローラーケースが上下摺動する部分に加工材等を当てないで下さい。昇降精度が悪くなり、加工材両端の段差が大きくなります。

(注意)ご使用後は必ずスイッチをOFFにし、さし込みプラグを抜いて下さい。

●カッターの取替え

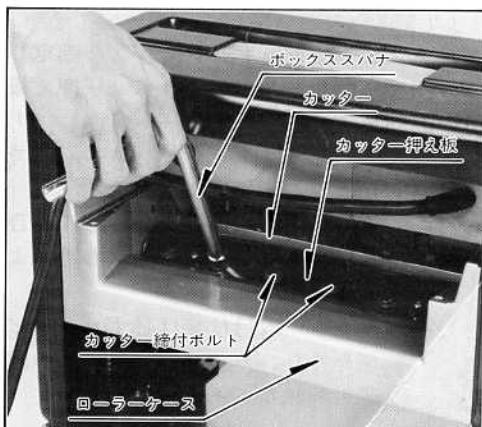
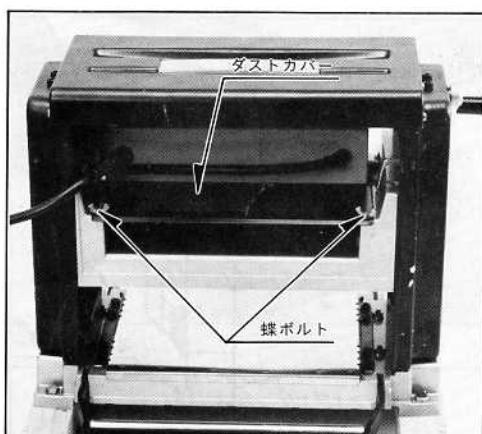
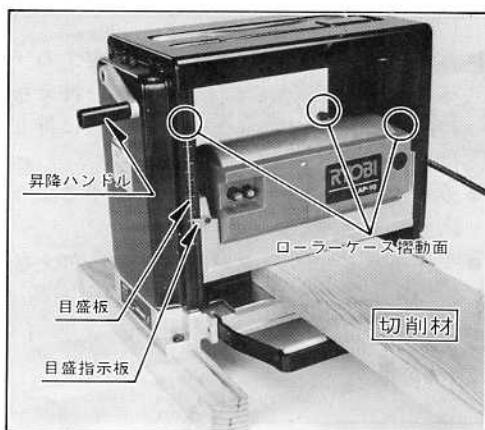
(カッターの取外し)

●本体後部の蝶ボルトをゆるめ、ダストカバーを取り外します。

●ローラーケースの左壁面にありますストップ穴にロックピンを斜めにさし込み、カッターブロックを固定します。

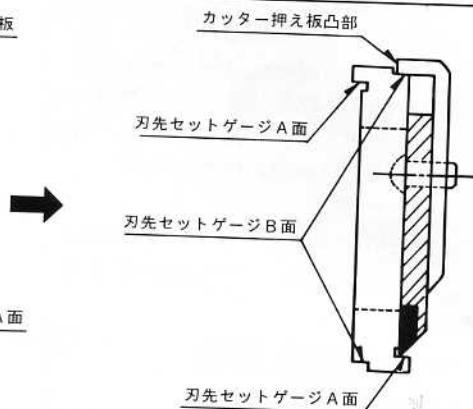
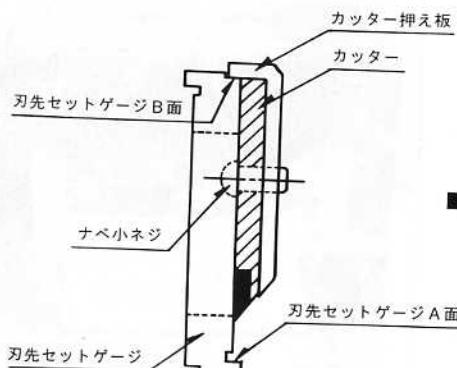
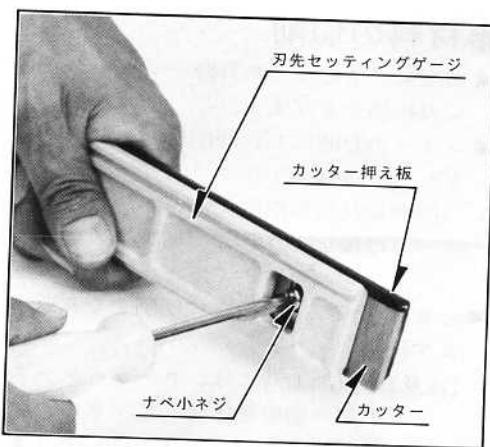
●ボックススパンナ(9 mm)でカッター締付ボルトをゆるめ、カッター抑え板共々カッターを取り外します。

●ロックピンを抜き、カッターブロックを180°回転させて、二組目のカッターも同様に取り外します。



(カッターの刃先調節)

- カッターとカッター押え板を固定するナベ小ネジを軽くゆるめ、カッター押え板の凸部を刃先セットゲージのB面に押し付けます。
- カッター刃先がA面に軽く接触するよう調節します。
- ナベ小ネジでカッターとカッター押え板を固定します。

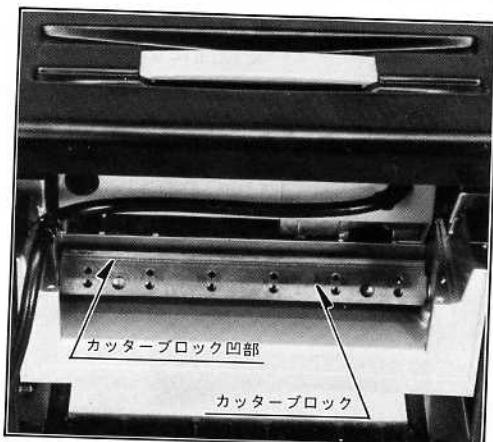


(カッターの取付け)

- ロックピンでカッターブロックを固定し、カッターブロック凹部にカッター押え板の凸部をはめ込みます。
- カッター締付ボルトをボックススパナで左右交互に強く締付けます。

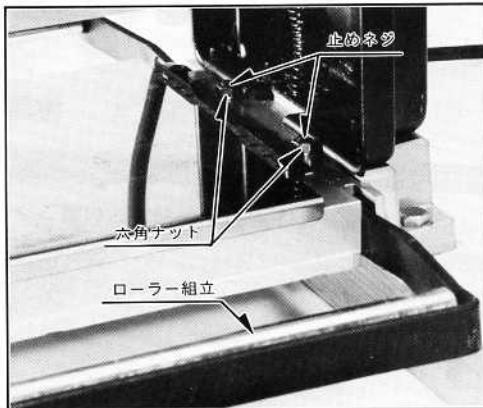
(注意) カッターの取付け、取外しの場合は、必ずさし込みプラグを電源より抜いて下さい。

(注意) カッター取付け後は必ずロックピンを外し、カッターブロックの固定を解除して下さい。



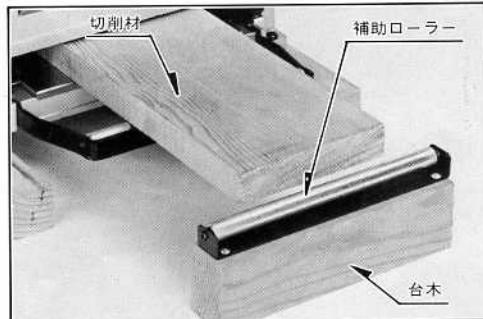
●ローラー高さの調節

- 附属品の両口スパナで締付ナットをゆるめます。
- 附属品のL型レンチ(3mm)で、調節ネジを回すことにより、ローラー高さは調節できます。
- ※ローラー高さは出荷時にセットしてあります。が、ローラーが下りましたら、定盤面より0.2~0.4mm高くなるように調節して下さい。
- ローラー高さ調節後は、締付ナットを締付けます。



●補助ローラー(別販売)

- 補助ローラーは、定盤と同じ高さになるように、適当な台木に木ネジ等で取付けて、使用します。



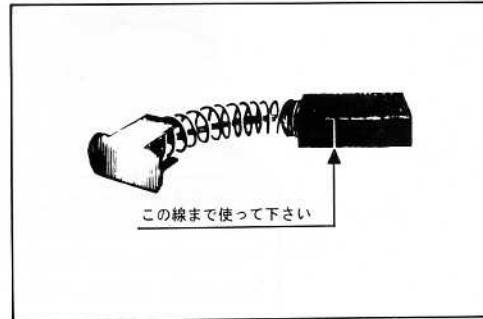
●保守と点検

●カーボンブラシ

カーボンブラシは全長の $\frac{1}{3}$ まで使用出来ますが、時々カーボンブラシを外して点検し、新しいカーボンブラシと交換して下さい。短いカーボンブラシをそのまま使っておりますとモーター焼損の原因になることがあります。

●カッター

切れ味が悪くなつたカッターをそのままご使用になりますとモーター、その他に無理がかかり、能率も落ちますので、早めに研磨するか、新品と交換して下さい。カッターを交換する場合は2枚1組単位で交換して下さい。何度も研磨したカッターと新品のカッターを1組にして使用しますとバランスが悪くなり、振動が出て、機械の寿命を低下させます。



●清掃と注油

機械に切屑・ゴミ等の付着がないように常に清掃して下さい。又各摺動部には時々注油をして下さい。

この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、
もしくはリョービ販売㈱営業所にお問い合わせ下さい。

改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元

